

## サービスホールからのお知らせ

- ◆福島第一原子力発電所の事故を踏まえた柏崎刈羽原子力発電所の安全対策実施状況を、より多くの皆さまにご覧いただけるよう、「安全対策見学会」ならびに「サービスホール説明会」を開催します。ぜひご来館ください。

### 安全対策見学会

開催日時	6月30日(日)までの <b>毎週土曜日と日曜日</b>
	1便：11:00~/2便：13:00~/3便15:00~

[所要時間] 約80分

[内 容] 発電所概要説明と映像視聴後、バスにて発電所構内をご案内します。

[申込方法] 事前にサービスホールへお電話にてご予約ください。  
(ただし席に余裕がある場合は、当日受付もしております)

[お願い事項] 発電所構内のご案内に伴い、ご本人確認を行いますので、運転免許証もしくは住民基本台帳カード(顔写真付)をお持ちください。



### サービスホール説明会

**開催日時：5月26日(日) 12:20~(約60分)**

[開催場所] サービスホールシアタールーム

※事前予約なしでご参加いただけます。

※安全対策見学会のバスにも乗車可能です。



**[お問い合わせ]** サービスホール ☎0120-34-4053 (9:00~17:00)

※5月19日(日)は作業停電のため、展示館は見学いただけません。  
誠に申し訳ございませんが、見学会のみの実施となります。

(おひらき)

みなさまの声を聞かせください

1. 「放射線」について、ご質問がございましたら、お聞かせください。

2. 発電所に対して、その他ご意見・ご質問がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました

みなさまからの  
様々なご疑問に  
本紙でお答えさ  
せていただきます。  
日頃から疑問に  
思っていたら、ご  
意見を寄せてくだ  
さい。

2013年5月19日発行 (H25-R-2)  
編集発行責任者  
柏崎刈羽原子力発電所広報部  
企画広報グループマネージャー  
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46  
☎0120-120-448 (平日9~17時)

## 発電所ニュース

### 訓練を繰り返し実施しています

- ◆防潮堤設置などハード面の対策とともに、ソフト面の対策として、社員直営での緊急時対応訓練を実施しています。



撮影日：4月23日



撮影日：3月23日

- ▲地震や津波により散乱したがれきや積雪で復旧活動ができなくなることを想定した、重機によるがれき撤去訓練の様子。約70名の社員が、がれき撤去車の免許を取得し必要な技能講習も受講しています。

- ◀消防車による原子炉への海水注入訓練の様子。消防車、がれき撤去車などは、海拔約35mの高台に配備しています。

## 地域のみなさまへの説明会を開催します

### 刈羽会場

- 日時：6月4日（火）  
18時～20時50分（17時30分開場）
- 会場：刈羽村高町地区集会場  
会場駐車場に限りがありますので「きなせ」  
駐車場もご利用ください。（バスにて送迎させ  
ていただきます）

### 柏崎会場

- 日時：6月6日（木）  
18時～20時50分（17時30分開場）
- 会場：柏崎市産業文化会館  
会場駐車場に限りがありますので公営の駐車場  
等をご利用ください。

### 説明会の内容（予定）

#### 【第一部】 発電所から皆さまへのご説明

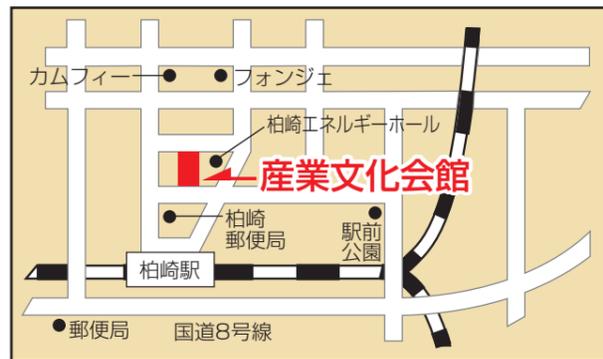
- 福島原子力事故を踏まえた原子力安全改革プラン
- 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の実施状況
- 柏崎刈羽原子力発電所の敷地内断層調査結果

#### 【第二部】 質疑応答

- 皆さまからのご質問に回答させていただきます



前回説明会の様子（平成24年9月）



## みなさまの声にお答えします

- Q. 福島第一原子力発電所1～3号機からの放射性物質の放出は続いているのですか？  
A. 放出は続いていますが、事故時に比べて減少しています。

福島第一原子力発電所では、プラントの安定状態の維持に取り組むとともに、1～4号機の廃止措置に向けた作業に取り組んでいます。

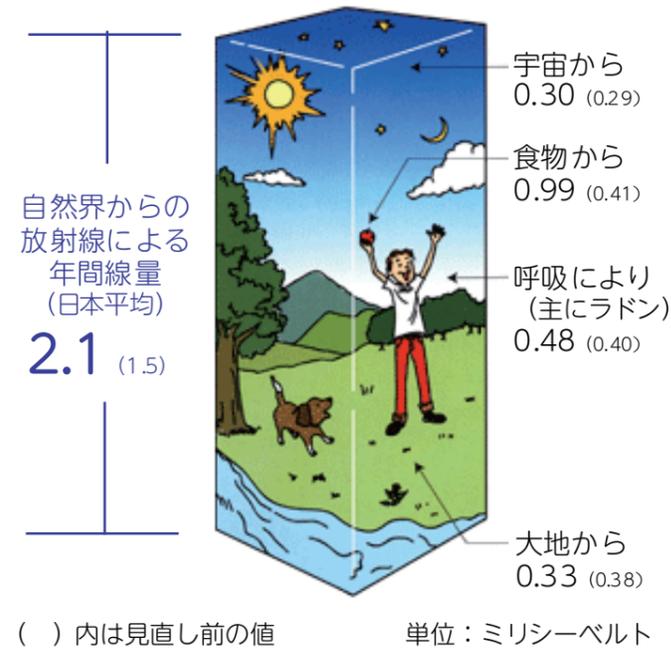
現在新たに大気中へ放出されている放射性物質の量は大幅に減少しており、1～3号機の原子炉建屋からの現時点（2013年4月26日公表時点）での放出量の最大値は、1時間あたり約0.1億ベクレルと推定しています。これは、事故時に比べて約8,000万分の1の値です。

この放出量が1年間続くと仮定した場合、敷地境界で1年間に受ける放射線量は、最大で約0.03ミリシーベルトと評価しました。（これまでに既に放出された放射性物質の影響は除きます）

## 【シリーズ】放射線のはなし⑬

### ～日本の自然放射線量が見直されました～

- ◆私たちの回りには、自然界の放射線が存在します。
- ◆日本での自然界から受ける年間放射線量は、これまで約1.5ミリシーベルトとされてきましたが、2011年に公表された新しいデータによると、食物からの内部被ばくが増え、約2.1ミリシーベルトに見直されました。（福島原子力事故の影響を含まない値です）
- ◆なお、世界平均は約2.4ミリシーベルトです。国別はもちろん、同じ国内でも地域によって違いがあり、ブラジルのガラパリでは、大地などから年間約10ミリシーベルトの放射線を受けるそうです。



#### ＜見直された主な理由＞

食物、特に魚介類に多く含まれるポロニウム210という自然の放射性物質についての最新情報に基づき、食物からの内部被ばくが約0.6ミリシーベルト増えました。

日本人は、魚介類を好むことから、ポロニウムによる被ばく量も多いそうです。

### 【発電所ミニデータ】

- 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は5,057人です。（5/1現在）
- 内訳は以下のとおりです。

＜東京電力＞			(人)
柏崎市	875		
刈羽村	86		
その他	118		
県外	101		

＜協力企業＞			(人)
柏崎市	2,016		
刈羽村	180		
その他	917		
県外	764		

＜合計＞		5,057
※協力企業については登録人数を計上。		

お電話番号  
ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。  
(2013年5月号)

ご住所  
〒

お名前  
年齢 歳 男・女

〒945-8790  
柏崎支店 承認  
16  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所  
広報部 行  
(柏崎支店私書箱53号)  
945 8790 4  
差し支えなければご記入ください

郵便はがき  
945-8790